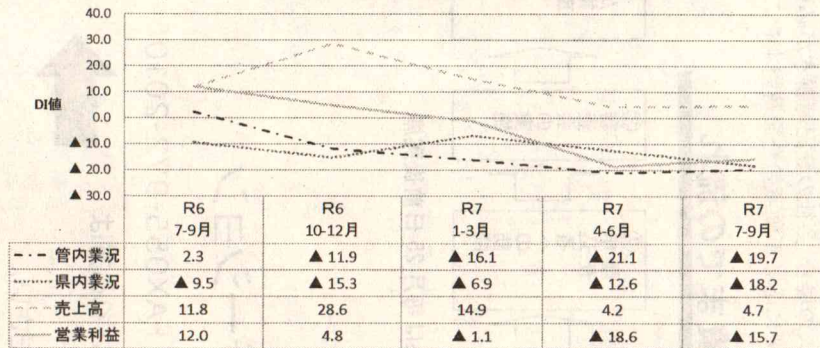


三島管内景況調査

令和7年度第2四半期
(調査期間)
令和7年7月～9月

景気判断指数 DI 値の推移



全体の売上高DI値はほぼ横ばいなかプラスを維持。建設業および飲食・旅館業、サービス業でプラスを示す。営業利益DI値は僅かに回復したものの依然として物価の高騰、人材の確保難、人件費の増加が課題。

※全業種のDI値は次の通りである。カッコ内は前回DI値(令和7年4月～6月)
 ☑業況感DI値 ▲19.7(▲21.1) ☑売上高DI値 4.7(4.2) ☑営業利益DI値 ▲15.7(▲18.6)

今回の調査では、全体の売上高DI値は4.7を示し、前回とほぼ横ばいの結果となった(前回調査結果4.2)。業種別みると製造業▲17.9、卸売・小売業▲14.3と二業種で減少を示す一方で、建設業10.5、飲食・旅館業10.0、サービス業34.4と三つの業種でプラスを示した。営業利益DI値は全体で▲15.7を示し、前回よりも僅かに回復したものの、全ての業種でマイナスを示した(前回調査結果▲18.6)。依然として物価の高騰、人材の確保難、人件費の増加が課題となっている。

業種別の業況感DI値は次の通り ※カッコ内は(今期)(今後の見通し)
 全体(▲19.7)(▲25.2) 製造業(▲28.6)(▲32.1) 建設業(▲15.8)(▲10.5)
 卸売・小売業(▲32.2)(▲42.9) 飲食・旅館業(▲15.0)(▲20.0) サービス業(▲6.2)(▲15.6)

*DI値(景気判断指数) = (増加・好転等の回答割合) - (減少・悪化等の回答割合)

景況 天気図 の見方					
	① 好調・好転・増加	② やや 好調・好転・増加	③ 横ばい	④ やや 不振・悪化・減少	⑤ 不振・悪化・減少

① 増加50%以上、DI値20%以上
② DI値10%～20%
③ 不変50%以上、DI値±10%
④ DI値-10%～-20%
⑤ 減少50%以上、DI値-20%以上

項目 業種	売上高		資金繰り		従業員数		パートの採用		営業利益		業況		設備投資	
	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	今期実施	今後 計画予定
全 体	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	38.6%	43.3%
製 造 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	50.0%	60.7%
建 設 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	42.1%	36.8%
小売・卸売業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	25.0%	28.6%
飲食・旅館業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	50.0%	55.0%
サービス業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	31.3%	37.5%

*この調査は、三島地区の中小企業の景況を定期的に把握し、各事業所の参考にさせていただくためのものです。
 左表にある項目について、「前年同期との比較」及び「今後3ヶ月の見通し」について調査し→で表しました。
 調査対象157事業所 回答127事業所(回収率 80.8%)